



府中二中だより

教育目標 自分らしく しなやかに たくましく
スローガン 笑顔満開の学校

令和 7 年度
11 月 20 日 発行
令和 8 年度教育号
府中第二中学校
校長 成清敏治
電話 361-9302

令和 8 年度の教育活動について

4 月の入学に向け、期待と不安があるのでは、と拝察いたします。今年は「昭和 100 年」ということで、昭和・平成・令和の時代変化を総括するテレビ番組を見かけます。特に最近の時代の変化は、子供たちが生き抜いていく時代を考えた時に、どう時代を見抜き、どのような力を身に付けていくべきかが大人の側に問われているように思われます。その意味で学校教育も大きく変わる必要があると私は考えています。様々な価値観も変化しています。学校だけでは様々な取組に限界があります。学校を核として社会全体で子供の教育に責任を負い、子供との向き合い方を考えていくことを模索していきたいと思います。昨年と同様の話になりますが、その一端を今日はお話したいと思います。

第一に、今年度は教育目標を「自分らしく しなやかに たくましく」と変更しました。自分らしく学びを求め、時代の変化にしなやかに対応し、たくましく世の中を乗り切る力を身に付けていくことを願いとしたものです。学校経営の柱としては、徹底した対話と納得の指導を掲げています。まずは生徒の心を聴くことからすべては始まります。中学校時代は心身ともに不安定な時期です。寄り添いと居場所が必要です。中学生の身近にいる大人が一番の味方であり、どんな状況であっても対話を継続し、生徒と大人が納得して希望ある未来へ向かうことが絶対に不可欠です。決して、大人と子供は上下関係ではありません。保護者の価値観を押し付ける対象でもありません。教職員も地域・保護者の方々も、子供とともに学び成長しながら、笑顔溢れる学校づくりに参画していただけることを期待します。

第二に、各教科や領域の分野で学んだことを、総合的に実生活で生かしていく取組を意識して教育活動を行います。学年ごとに大テーマを立て、自分から他者、他者から社会、そして自分の将来へと視野を広げていき、将来必要な力として 5 つの柱を設定します。①健康、②地域・防災、③人権・福祉、④国際理解、⑤未来・平和、これらは人間にとって「平和な心」を構築する大事な要素であり、常に磨き抜いていく必要があります。小中 9 年間に留まらず、幼保・小中高大を見通す中で、社会に出ても困らない資質や能力、リテラシーを育成する取組を効果的・発展的・創造的に 3 年間で配置していきます。もちろん点数学力も大事ですが、非認知能力を育成することの重要性が問われています。粘り強さや自己を調整する力、これは大人が見本を示し、ともに成長する中でしか伸びていきません。自分が好きな専門分野を極めた人たちが、強固なコミュニケーションを図り、効率良く協働していけば、世の中に功績を残せる時代になっていきます。自分は絶対にこの分野は



負けないとの熱い思いと、人間を絶対的に信頼するコミュニケーションを中学校時代に身に付けることこそ、義務教育の使命だと考えています。

時代は変わりました。スマホの保有が小学生低学年にも行き渡る時代です。悪に染まれば闇バイトに安易に加担する時代です。何が大事で何が必要で何を身に付け社会へ送り出すか、これは子供の問題ではなく大人の問題です。二中の教職員は、その未来を形作ってくれる生徒の最大の味方だと、自信をもって保護者の皆さまへお伝えできます。府中二中の 3 年間で、お子様が自分らしくしなやかにたくましく生きていく、そして自主性が発揮できる教育環境を充実させてまいります。

(新入生保護者説明会 11月8日)

令和8年度1学期 主な行事予定(5月まで)

4月 6日(月) 始業式 4月7日(火) 入学式
4月23日(木) 全国学力・学習状況調査(3年)
5月 7日(木)・8日(金) ふれあい自然教室(1年)…1泊2日
5月23日(土) 運動会 ※予備日:25日(月)

令和8年度に向けて 学校経営方針骨子案

【教育目標】自分らしく しなやかに たくましく 【スローガン】笑顔満開の学校

(1) 前文 ⇒ 教育基本法、都教育ビジョン、府中市教育プラン、二中教育目標など

(2) 経営方針 ⇒ 「①徹底した対話に基づく共感 ②納得し理解できる指導」が柱

(3) 教育目標を達成させるための具体策

ア) 地域・保護者 ①学校運営協議会 ②スクール・コミュニティ協議会 ③PTA
④評価アンケート活用 ⑤広報活動 ⑥カス・ハラ

イ) 学習指導 ①4つの視点 ②プロセス重視 ③評価・評定の精度
④タブレット端末の活用 ⑤学校司書の活用 ⑥自走力の育成

ウ) 生徒指導 ①発達支援的指導 ②回避能力の育成 ③人権意識 ④安全意識
⑤いじめ対策委員会 ⑥関係諸機関との連携

エ) カリマネ ①キャリア教育…学年ごとのテーマ(自分から他者、他者から社会、社会から自分の進路) ②特別の教科 道徳…人間形成力 ③総合的な学習の時間…課題解決、未来開拓、5つの柱で全人的な育成

オ) 特別支援 ①交流活動 ②委員会、関係機関との連携 ③UDとインクルーシブ

カ) 不登校 ①対策委員会 ②復帰支援

キ) 学校施設 ①安心・安全確保 ②エコ活動推進

ク) 質的充実 ①小中一貫教育 ②服務事故ゼロ ③ワークライフバランス
④言行一致 ⑤絶対平和主義

合唱コンクールが無事に終了(10月28日)

【あいさつ】合唱は平和の象徴であります。皆で歌い上げるその歌声の中に平和があります。今この瞬間にも、爆弾が空から降ってくるような究極の戦争の中で、身を縮めながらおびえて生きている人がいる。明日の食べ物もない中で飢えに苦しんでいる人もいます。その人たちに直接の行動はできないかもしれませんが、心を届けることはできる。それが合唱です。

日本は戦争のない状態が80年続いています。平和な心を自身の胸に刻み、いつの日か、世界の人々に平和を送り届け、みんなが幸せを感じられる世の中にすることが、これから長く生きる皆さんの大きなミッションだと考えます。そのことをまず身近な今日の合唱コンクールで実感できることが何よりの宝だと思います。

